

はまだ協働学舎ファンタス

NO	分類	質問	回答
1	運営	情報発信は大学生(若者のみ)ですか。大人のファンタスの方はどのような動きをされているのですか。	情報発信に関しては今Instagramを中心に行っています。HPを作成したのでそちらの内容も充実させられればと思っています。アクセスして頂ければどなたでも閲覧して頂けるので、年齢を問わずご覧いただけます。大人のメンバーが企画運営の主になり、学生と協力しながら行うことが多いです。
2	運営	持続的な事業の運営を行っていく為に1番必要なものは何でしょうか。(人、もの、金、時間等)	一番問われると難しいところではありますが、活動に責任を持つためにはまず活動する人の生活基盤があってこそだと考えるので、人件費を確保した上で事業を行う必要があると思います。
3	運営	ご縁広場・朝日町プロジェクトの各開催の企画から当日まではどのような流れで進めておられますか。どうやって企画していますか。	プロジェクトによりケースバイケースですが、おおよそ3ヵ月ほど前から企画内容を具体化していき、協力して頂ける方々への声掛けをしていく流れが多いです。地域との繋がりが大きい企画に関してはその地域出身者が核になって動きます。その間のメンバーや学生とのやり取りはZoomを使って行うことが多いです。
4	運営	ファンタスさんの活動資金は足りているのでしょうか。収入源は何でしょうか。	現在は市の業務委託などを受けて動いています。活動を広げていくため、という視点でいうと資金が足りているとは言い難いのが現状です。活動したい取り組みはいくつかありますが、活動資金が限定的なため、現在は限られた資金の中で取り組まざるを得ない状況です。
5	外部との連携	県大生以外の若者とのつながりはどのようにしていますか。ファンタスはどのような人達で構成されていますか。	ファンタスのメンバーは5地域出身の大人のメンバーと現役の学生2人で構成されています。高校の魅力化コンソーシアムに関わっているメンバーがいるため、市内の高校との繋がりがあります。
6	外部との連携	若者と地域をつなぐコーディネーターとしての人材発掘をどのように考えておられますか。	コーディネーターとしての人材は希少なため、人材を発掘するというよりも、人材育成を行う方が現実的かと思っています。
7	I・Uターン	ファンタスのメンバーは県外の人何人くらいでしょうか。	大人のメンバーは全員県内出身者で、学生は県外出身者もいます。
8	I・Uターン	若者の方との交流で地域に定住が感じられますか。地域活動に(ファンタスに連絡する方法)繋がるにはどうしたら良いでしょうか。	浜田市以外では県大生の定住の動きが見られるようになっていきます。学生からは働き口と住むところがあれば定住したいとの声を聞くので、そちらの情報収集を行わなければならないと感じています。仕事がないので泣く泣く県外に出た、という事例も聞いています。ホームページに、電話番号、問い合わせフォームがあるのでこちらからご連絡ください。 ホームページ: https://hamada-fantas.net/

9	大学	【学生の興味関心について】 ①学生さんはどんな、まちづくりセンターとのコラボを含め、どのような地域活動に興味があるのでしょうか。 ②また、それを知る方法がありますか。 ②参加する学生はそれぞれ自分のテーマなり協働の地域エリアなりを決めておられるのでしょうか。	①興味のある活動:知っている範囲では食、地域住民との交流、稲作や畑作、耕作放棄地、伝統文化、石見神楽、地域課題などです。 ②知る方法:現時点では、学生から直接聞くしかありません。(過去にファンタスで実施した、学生と地域の方が交流する「ご縁広場」の事業では、学生が興味関心を名刺に記載し配布するというを行いました。) ③テーマやエリアの有無:こちらに関しても学生によって違っていますが、地域住民と仲良くなることでその地域への思い入れが強くなる傾向があります。
10	大学	【学生の参加について】 ①メンバーは同一で継続して活動していますか。 ②その都度募集していますか。 ③他大学へのPRはしていますか。 ④R5年度ご縁広場・朝日町商店街プロジェクトの参加人数を教えてください。	①継続しているか:現在のところ継続して活動しています。 ②募集:R6年度は4月の時点で学生サポーターの募集をかけたいと考えています。 ③他大学へのPRの有無:現在は積極的には行っているわけではありませんが、学生を通じて県立大学の他のキャンパスや島根大学の学生に情報が届いているようです。 ④プロジェクト参加人数:2回/年 約170人
11	大学	大学生は平日の水曜日が良いのはなぜですか。	水曜日の午後が比較的大学の授業が少ないからです。
12	大学	地域が学生とコラボして、何かやりたいという相談には、具体的にどんなものがありますか。	イベントの企画や実施、地域住民との交流が現在は多いです。
13	大学	学生を受け入れる場合の受け入れ先のスタンスはどのようにするのが良いですか。	学生を単純な若い労働力と考えるのではなく、学生側にも関わるメリット(学生がやりたいことができる、必要としているスキル＜企画力・コミュニケーション力が向上する等＞等)が得られるように考えて頂けると良いと思います。地域側と学生の双方にメリットがある形が理想的です。
14	交通	【学生の移動手段について】 ①学生の移動手段は何ですか。 ②交通費の費用弁償について行政に相談されたことがありますか。 ③②について行政からの返事がありますか。 ④他に良い解決策はありますか。	①移動手段:学生によってバラバラなので、都度確認が必要になります。 ②費用弁償:費用弁償に関しては、地域側が負担して下さるところもあります。行政が絡むイベントに関しては都度ご相談させて頂いています。 ③行政回答:ケースバイケースです。 ④他の解決策:現在のところ実証実験を行った学生版あいのりタクシーのシステムの検討が現実的かなと思っています。
15	交通	【あいのりタクシーについて】 ①誰が申請者となっていますか。 ②ファンタスはあいのりタクシーを利用できますか。 ③事務を県大生が行う可能性はありますか。	①申請者:実証実験の段階ではファンタスが窓口になっていました。 ②ファンタスの利用:既存の仕組みの中では利用できません。 ③事務について:現時点では未定です。
16	交流プラザ	まちなか交流プラザで大学生や高校生が過ごしているのをよく見るようになりました。まちなか交流プラザがきっかけで学生がコラボした案件があれば知りたいです。	学生たちが交流プラザを利用する中で、大学生が高校生と交流する企画を考えたり、大学生が若手社会人とイベントを行ったり、高校の枠組みを超えて活動する地域系部活動の拠点になっていたりします。
17	交流プラザ	ファンタスの活動はこれからもずっとあの場所を出していただけるのですか。同様の若者グループが出てくれば入札等になるのですか。	今後もその予定ですが、行政の動向によっては分かりません。

18	その他	若者がまちづくりボランティアに関心を持つ人の割合は少ないのではないかと思います。そのような人はなぜ関心を持つようになったのですか。	4年前に県立大学に地域政策学部ができたことにより、地域活動に関心を持つ層が増えたように感じています。
19	その他	若者の定義は大学生なのでしょうか。高校生の参加も今後考えていますか。	若者は大学生だけでなく中高生や社会人も含んでいます。現在でも高校生は多数活動に参加してくれています。
20	その他	朝日町・プランターで育てた野菜はどうになりましたか。そもそもうまく育ちましたか。	野菜は各家庭で食べて頂きました。失敗の少ない野菜を選んだためか、順調に育ったところが多かったです。
21	その他	まちづくりとファンタスさんはオンライン化できますか。	この「まちづくり」がまちづくりセンターを指しているのなら、可能と考えます。まちづくりセンターの場合はインターネット環境とオンラインのツールをどう使うかは行政と相談しないといけないかもしれませんね。
22	その他	ファンタスの中で地区担当者はいますか。	ファンタスの中で、現時点で地区担当者はおりません。
23	その他	窓口がわかりません。	ホームページに連絡先が記載されてありますのでご確認ください。 ホームページURL: https://hamada-fantas.net/
24	その他	令和5年度実施したことについて 成果があったが深題として距離と時間のハードルが高いとあるがハードルを下げる方策を考えて下さい。	スピード感を持って取り組もうと思うのなら、オンラインツールの活用、ゆくゆくは交通事情の課題の解決の順ではないかと考えます。
25	その他	まちづくりICTとは何ですか。	地域活動における物理的な距離と移動時間の課題を解決するための1つの方法がコミュニケーションのオンライン化だと思うのですが、そこをサポートする人員のことをまちづくりICT支援員、として表現しました。